

●『「主体的・対話的で深い学び」につながる授業実践集
－「6つの帽子」で面白いほど対話がすすむ－』

著者：樋口直宏・唐木清志（監修）

つくば市総合教育研究所（編集）

発行：高陵社書店 / 2018年6月

価格：本体1000円＋税

判型：B5判，96頁

ISBN：978-4771110298



【内容紹介】

つくば市教育委員会では、小中一貫教育をはじめとする先駆的な実践を行っている。本書は、新学習指導要領における「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、エドワード・デボノ (Edward de Bono) による「6つの帽子(six hats)」を活用した授業実践集である。

デボノは、水平思考(lateral thinking)をはじめとする発想法や創造性の研究者として日本でも知られ、翻訳書も刊行されている。これらを発展させたのが、「6つの帽子」を用いた思考法である。それは、事実や数値といったデータを表す白い帽子、思ったままの感情的な視点を表す赤い帽子、弱点やマイナス面の視点を表す黒い帽子、肯定的な側面やプラス面の視点を表す黄色い帽子、創造性と新しい考え方への視点を示す緑の帽子、考え方のプロセスを構成あるいは調整する青い帽子から成る。参加者は、6色のうちいずれかの視点に立ちながら、帽子をかぶって思考し発言する。

つくば市小中一貫教育教育課程検討部会に所属する先生方は、2016～2017年度にかけて、「6つの帽子」を取り入れた授業を実践した。本書は第1章において理論的な検討を行うとともに、第2章において小中学校の各教科において実践された15本の事例を掲載している。また第3章では、特に市民性の育成に焦点をあてて、「6つの帽子」をどのように活用するかを考察するとともに、監修者の唐木氏が解説を加えている。

筆者は、つくば市総合教育研究所の依頼を受けて、本研究の助言者として授業を参観しており、その成果報告書がこのような形で出版され、監修および執筆者の一人として関わったのは望外の喜びである。また私事ながら、大学院の同期である唐木氏と共著を出版できたことも良い記念となった。小さな授業実践集ではあるが、主体的・対話的で深い学びを通して資質・能力を育もうとする試みとしてご一読いただけると幸いである。

（樋口直宏）

【著者紹介】

樋口直宏（筑波大学教育学域教授）

唐木清志（筑波大学教育学域教授）